

「五所川原市下水道事業経営戦略」（改定案）についての意見募集結果について

市が実施しました「五所川原市下水道事業経営戦略」（改定案）の策定にあたっての意見募集に対し、貴重なご意見をいただき、誠に、ありがとうございました。

いただいた意見の概要とそれに対する市の考え方は下記のとおりです。

記

1 意見募集期間

令和6年10月1日から令和6年10月31日まで

2 募集方法

市のホームページ（<http://www.city.goshogawara.lg.jp/>）に案の概要等を掲載したほか、市上下水道部経営管理課、行政資料スペースに備え付けました。

意見提出は、郵送、電子メール、FAXのいずれかの方法によることとし、提出言語は日本語としました。

意見提出にあたっては、提出者の氏名・住所（法人等の場合は、その名称・事務所所在地等の連絡先）の明記を条件としました。

3 提出された意見

1人の方から延べ1件の意見をいただきました。その反映状況は次のとおりです。

文章修正等	記述済み	実施段階検討	反映困難	その他	合計
0件	0件	1件	0件	0件	1件

「文章修正等」・・・本文の修正、記述の追加等意見を反映させるもの。

「記述済み」・・・既に記述済みのもの。

「実施段階検討」・・・計画の実施段階で検討又は対応すべきもの。

「反映困難」・・・反映が困難なもの。

「その他」・・・質問や感想。施策の体系外への意見。

意見の内容とそれに対する市の考え方及び意見を考慮した結果決定した案は、次のとおりです。

(提出された意見の内容とそれに対する市の考え方)

提出された意見	市の考え方
下水道の事業は市民生活に密接かつ重要であるにもかかわらず、市民の関心は極めて低い。 また人口減少による収入減と物価高、人件費の上昇などによる経費の増加は避けられないと思われる。とくに物価高にかんしてはさまざまな原因が存在することから、国の経済対策などが必要とされ、市や公営事業で対策するのは極めて困難と考えられる。一方で経費削減にかんしては限界があると思われる、さらなる経費削減によって、かえって事業継続に支障をきたすことも考えられないか。 よって、計画では使用料の値上げを 2030 年（令和 12 年）に 10 円アップとあるが、前倒して進めるべきではないか。 ただし使用料値上げ前倒しには、前述のとおり、市民の関心が低いことから、下水道事業にかんする十分な PR 活動が不可欠である。 国内外の状況が非常に不安定な情勢にあり、2030 年までには、事業をめぐる状況も変化すると思われるので、早めの対策をとるべきではないか。市民に理解していただいた上で、使用料のアップの前倒しを意見として提出したい。	貴重な御意見ありがとうございます。 御提言のとおり、下水道事業を取り巻く経営環境は一層厳しさを増す状況にある中で、将来にわたり持続的に運営するためには使用料収入は必要不可欠であることから、計画的に使用料の改定を行うことが必要となります。 そのため、原則 4 年ごとに使用料の妥当性の検証・検討を行い、改定の必要性を判断することとしております。 使用料を値上げする場合には、市民生活への影響が大きく、使用者負担を伴うことから、十分に検証・検討した上で改定の必要性を判断した際には、実施に向けて進めてまいりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。 また、下水道事業を持続的かつ安定的に運営していくためにも、下水道の役割や仕組みなど、基本的な事項から経営状況等も含めた下水道への理解促進に努めてまいります。